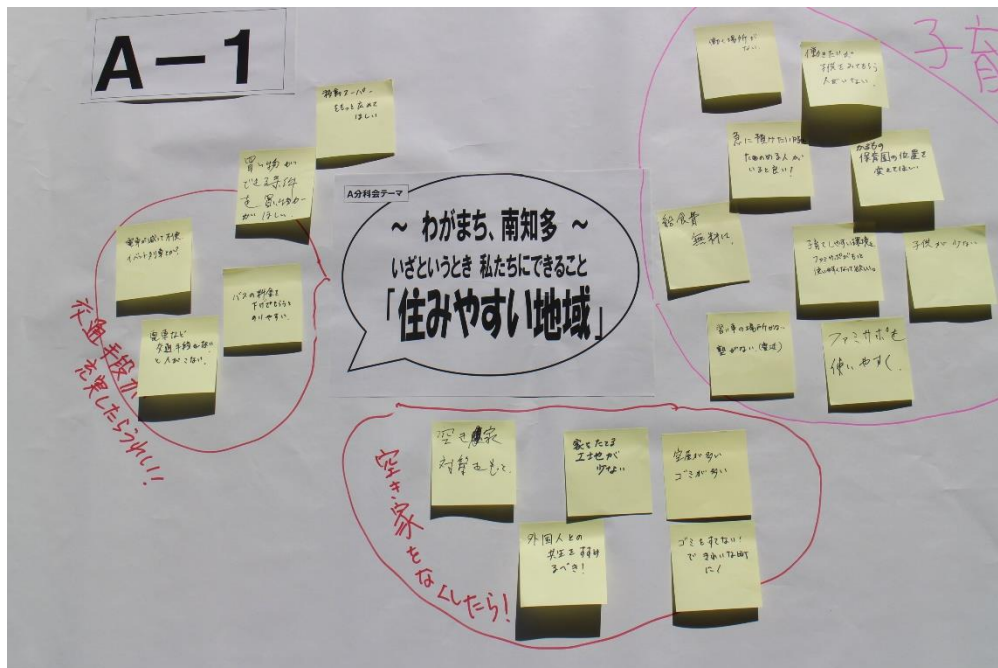


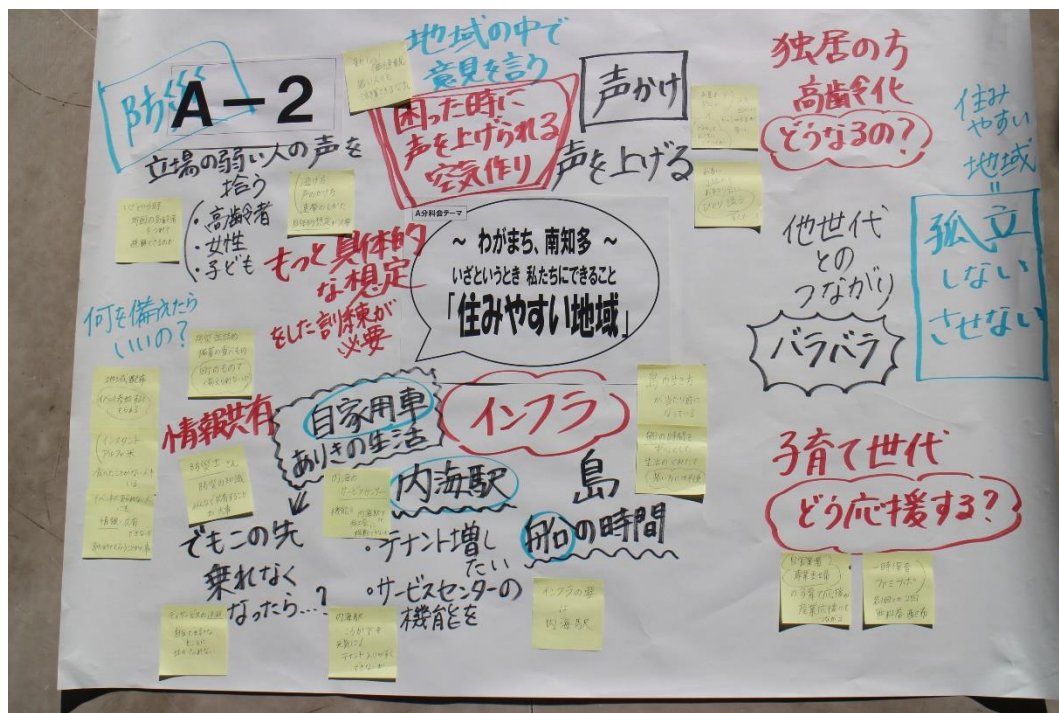
第36回「みんなの集い」おしゃべりタイム2 模造紙書き起こし

A分科会:「住みやすい地域」



【A-1】書き起こし

- (1) 交通手段の充実 ……
 - ・電車などの交通手段が減って生活が不便になった。人も来ない。
 - ・買い物に困る。移動スーパーをもっと広めてほしい。
 - ・バスの料金を下げてほしい。
- (2) 子育て ……
 - ・働きたいがこどもの面倒を見てくれる人がいない。
 - ・急に預けたいときに頼める人が欲しい。
 - ・子育てしやすい環境を、ファミサポがもっと使いやすくなってほしい。
 - ・習い事や塾がない。
 - ・給食費を無料にしてほしい。
 - ・働く場所がない。
 - ・子どもが少ない。
 - ・かるも保育所の位置を変えてほしい。
- (3) 空き家対策 ……
 - ・空き家対策を元雄しっかりやってほしい。
 - ・空き家が多く、ごみも多い。
 - ・ごみを捨てないで、きれいな町にしたい。
 - ・家を建てる土地が少ない。
 - ・外国人との共生をもっと進めるべき。

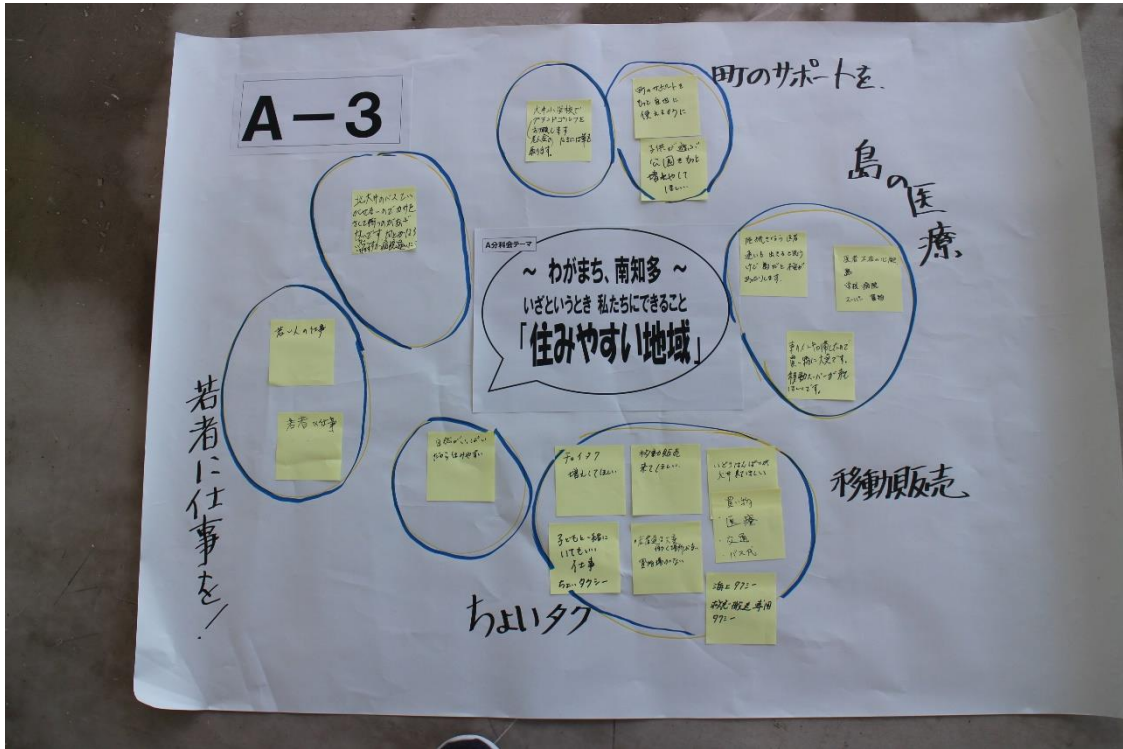


【A-2】書き起こし

- (1) 地域の人をつながりを生かした防災「私たちにできること」
 - ・地域の中で困ったときに声をあげられる雰囲気づくりをする。
 - ・立場の弱い人（高齢者、女性、子供）の声を拾う。
 - ・声かけ、声を上げる。
 - ・新しい価値観、若い人でも活躍できる空気。
 - ・多世代とのつながりが希薄な今、独居の方、高齢の方はどうなるの？
 - ・孤立をしない、させないことが住みやすい地域をつくる。
 - ・お墓参りやサロンでは、これからも近隣の人に声をかけていきたい。
- (2) 防災対策「いざというときの備え」
 - ・何を備えたらいいのか？
 - ・防災缶詰、備蓄食品（アルファ米など）、イベントへ参加するともらえるが、イベントなどに参加できずに食べたことのない人もいるので、触れられる機会をあげたい。
 - ・防災士さんの防災知識をみんなで情報共有することが大事。
 - ・もっと具体的な想定をした訓練が必要。
- (3) 地域のインフラ
 - ・自家用車ありきの生活を見直す。
 - ・やがて、乗れなくなる時のことを考える。
 - ・デイサービスの送迎のみでは、自分の好きなおところへ出かけられなくなる。
 - ・内海駅は、インフラの要である。
 - ・内海駅のテナントを増やしたり、サービスセンターの機能を内海駅の下に移動させたりして、内海駅を活性化させたい。
 - ・他地域でも、公共サービスとの融合で地域を盛り上げることはできないか。
 - ・島民と船は切り離せない。当たり前になっている船の時間を中心にした島の生活は、若者にとって不便である。

(3) 子育て応援

- ・子育て世代をどう応援するのか。
- ・自営業者や専業主婦の子育て応援が、産業応援にもつながる。
- ・一時保育やファミサポで各1、2回の無料念を配布してほしい。



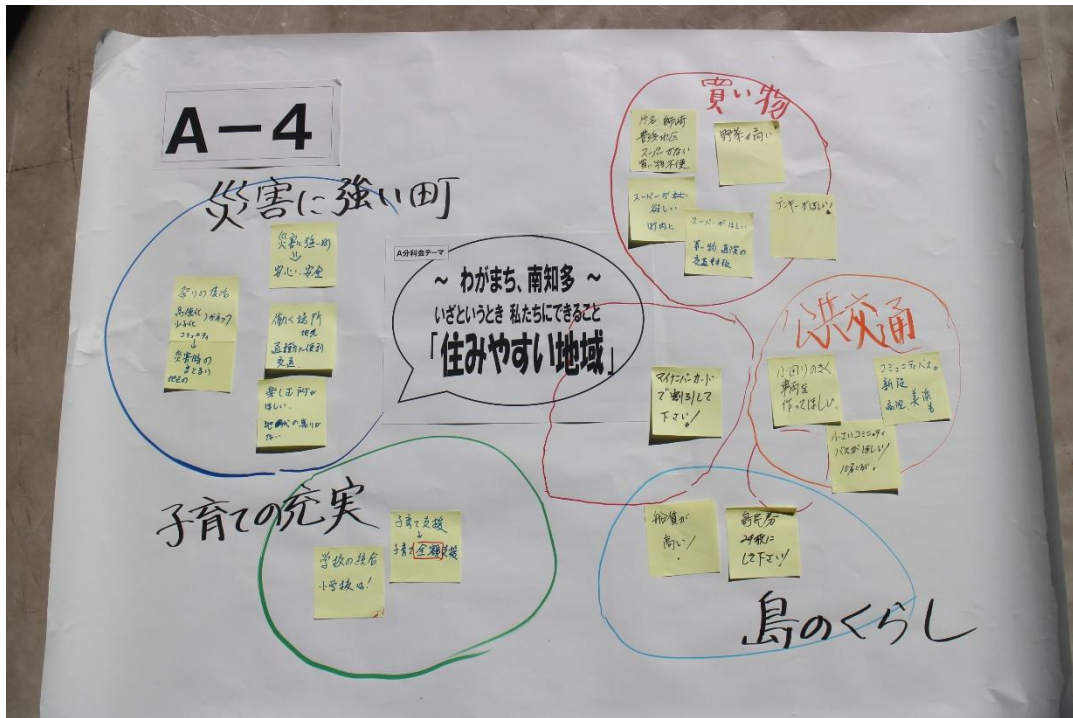
【A-3】書き起こし

(1) 若者に仕事を

- ・若い人に仕事がない。仕事を増やせないか。
- ・子供と一緒にいてもできる仕事が欲しい。

(2) 住みやすさと町のサポート

- ・自然がいっぱいだから、住みやすい。
- ・大井小学校で老人会のグランドゴルフを楽しんでいます。たまには賞もとるんですよ。これからもお願いします。
- ・町のサポートをもっと自由に使えるようにしてほしい。
- ・子供が遊ぶ公園を増やしてほしい。
- ・買い物する店が少ない。住民が少ないので、商売が成り立たない。
- ・移動販売を増やしてほしい。大井にも来てほしい。
- ・買い物や病院への足がない。バスの時間が少なく、バス代も高くて利用しづらい。
- ・ちよいタクシーを増やしてほしい。



【A-4】書き起こし

- (1) 災害に強い町
 - ・災害に強い町は、安心して安全である。
 - ・人がいて、心を通じ合わせまとまりがある地域。
 - ・地元で働くことで、通勤も便利だし、家族を守る若者がいるということ。
 - ・地域で、集まれる場所が欲しい。楽しむ所や機会を大切にしたい。
 - ・高齢化や少子化が原因で祭りがなくなった地域がある。災害時のまとまりも心配されている。祭りを復活させることも必要である。
- (2) 子育て支援の充実
 - ・子育て全額支援を。
 - ・小学校の統合は必要か。
- (3) 買い物
 - ・片名、師崎、豊浜地区には、スーパーがない。
 - ・買い物や通院の交通手段が便である。
 - ・もっとスーパーが欲しい。
 - ・ゲンキーのような店も欲しい。
 - ・野菜が高い。
- (4) 公共交通
 - ・小回りの利く車両を作ってほしい。
 - ・10名ぐらいが乗れるコミュニティーバスが欲しい。
 - ・コミュニティーバスの新設をして、美浜町の病院も利用しやすくしてほしい。
 - ・マイナンバーカードで船賃やバス運賃を割り引きしてほしい。



【A-5】書き起こし

(1) コミュニティー・地域のつながり

- ・日頃からの声かけ
- ・近所とのかかわりを持つ。
- ・不審者がいるとすぐに大人たちが連絡を取り合っって子供たちを守れる。
- ・住人の人柄がいい。顔見知りの人が多く、声をかけ合える。
- ・共助がある。
- ・働く場所がない。働く場所までが遠い。
- ・空いた校舎に企業が入ってくると仕事が増えると思う。働く場所があると住む人も増える。
- ・隣組のメンバーを把握して避難時に助け合う。防災に強い地域ができる。
- ・積極的にロケ地に誘致する。
- ・産業誘致で、職場を生む。

(2) 居場所づくり

- ・外に出ることに心がける。おしゃべり会を楽しむ。
- ・公共施設が減ると集まる場所がなくなって不便。
- ・山海小がそのままになっているが、なんとか活用できないか。
- ・スマホ操作に慣れるため、スマホ教室に参加したい。

(3) 子どもの遊び場

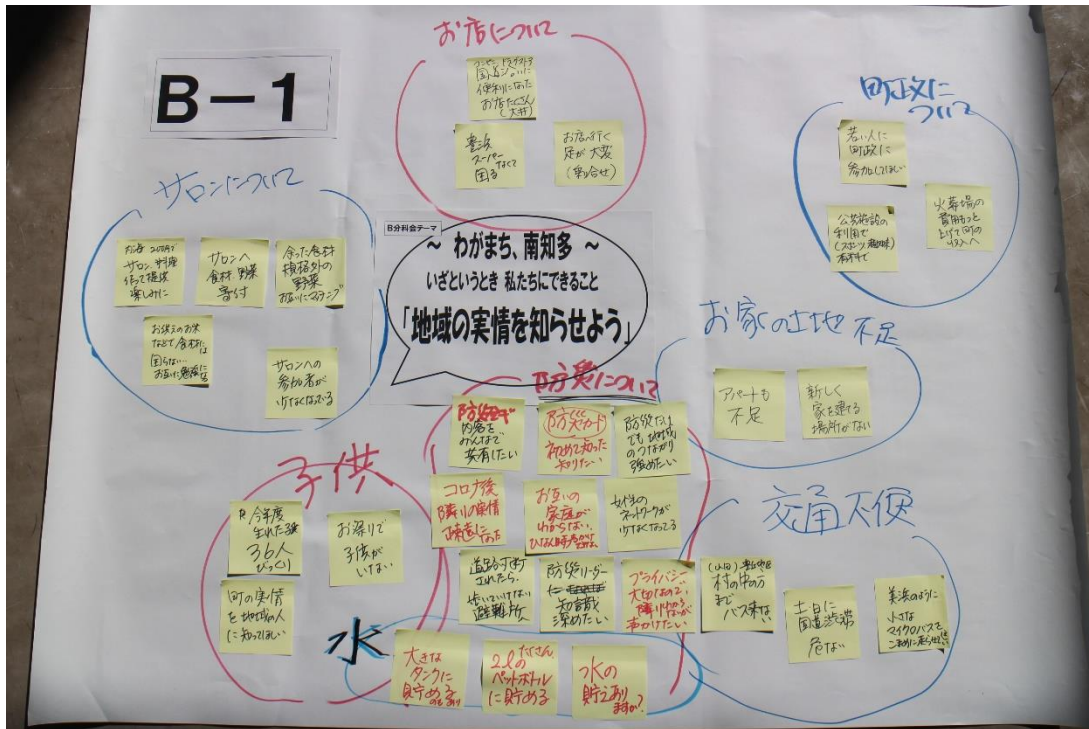
- ・子どもが少ないので、逆に年上の子も下の子も仲良く遊んでいる。
- ・子供の遊び場がないので増やしてほしい。
- ・片名保育所の跡地（空地）を公園にして、みんなが集まれる場所にしてほしい。

(4) 地区の行事

- ・鯛祭り、復活してほしいが、若者がいない。やり方を変えなければ。
- ・地区の行事が成り立たない。

- ・祭りなどのイベントがなくなっている。
 - ・避難訓練への参加にも。
- (5) 島の事情
- ・急病になったとき、医者が島にいないで困ることがある。
 - ・習い事にも不便している。
- (6) 移動手段
- ・交通の便が悪い。もっとアクセスをよくしてほしい。
 - ・バスは、右回り左回りでは、解決していない。目的地まで時間がかかりすぎる。
 - ・公共施設までの移動手段に困っている。
 - ・中・高校が島からなくなり、母親も一緒に島を出て行ってしまう。
 - ・子どもの船賃を無料にしてほしい。
- (7) 買い物
- ・豊浜地区には、スーパーがなくなったので、不便である。スーパーが欲しい。
 - ・孫に買い物の経験をさせたくても地元には店がない。
 - ・買い物に不便である。

B分科会：「地域の実情を知らせよう」



【B-1】書き起こし

(1) 地域の防災

- ・コロナ後、隣の実情が疎遠になった。
- ・プライバシーは大切だが、隣へは声をかけたい。
- ・女性のネットワークが少なくなっている。
- ・お互いの過程がわからないと避難時に声をかけられない。
- ・防災だけでも地域のつながりを強めたい。
- ・防災会議の内容をみんなで共有したい。
- ・防災リーダーの知識を深めたい。
- ・道路が寸断されたら、避難所へ歩いていけないのでは。

(2) 被災時に必要な水

- ・水の蓄えはあるか。
- ・水を入れた20ボトルをたくさん用意しておく必要がある。
- ・大きなタンクに水をためておくのもありか。

(3) 買い物 (店) について

- ・大井は、国道沿いにコンビニやドラッグストアなどの便利な店がたくさんできた。
- ・豊浜は、スーパーがなくて困っている。
- ・お店に行く足が大変。乗り合わせて……。

(4) 交通不便

- ・土日には、国道が渋滞して危険である。
- ・豊岡地区は、村の中までバスは来ない。
- ・美浜町のように、小さなマイクロバスをこまめに走らせてほしい。

- (5) 家の土地不足
 - ・アパートが不足している。
 - ・新しく家を建てる場所がない。
- (6) サロンの現状
 - ・サロンへ食材、野菜を寄付している。
 - ・余った食材や規格外の野菜を互いにマッチングさせている。
 - ・お供えの米などで食材には困らない。互いに勉強になる。
 - ・内海で、200円でサロン。料理を作って提供している。楽しみにしている。
 - ・サロンへの参加者が少なくなっている。
- (7) 少子化について
 - ・今年度生まれた子どもが36人と聞く。びっくりする。
 - ・お祭りで、子どもがいない。
 - ・町の事情を地域の人に知ってほしい。



【B-2】書き起こし

- (1) 老後の交通の足を考える
 - ・電車の駅が問題である。総合体育館まで遠いこと、時間（本数）が少ないこと。
 - ・バスの便数が少ないことも問題がある。
 - ・車に乗れる今はまだいいが、将来（老後）に不安がある。
 - ・解消のための方策として……
 - 美浜町の「行ってきバス」のような小さなバス

- ボランティアで運転（タクシー）
- ちょこちょこ行ってくれる小さいバス
- 名古屋のように「敬老パス」
- バス一律 400 円は、高いのもっと安くする
- 広報に毎月タダ券の綴りを入れる

(2) 老後の不安

- ・厚生病院（総合病院）がなくなると困る。
- ・介護認定をもっと知らせるべき。
- ・介護認定調査の時にケアマネさんから胃ろう等本人の希望を聞いてもらいたい。
- ・病院へのおむつの寄付が山積みと聞く、社協さんで安く必要な人に分けるとよい。

(3) 買い物事情

- ・店が少なくなり、欲しい物も不足している。
- ・店に行くまでの交通手段がない。
- ・移動販売があるといい。時間ごとに転々と周っていただけるとよい。

(4) 子育て事情

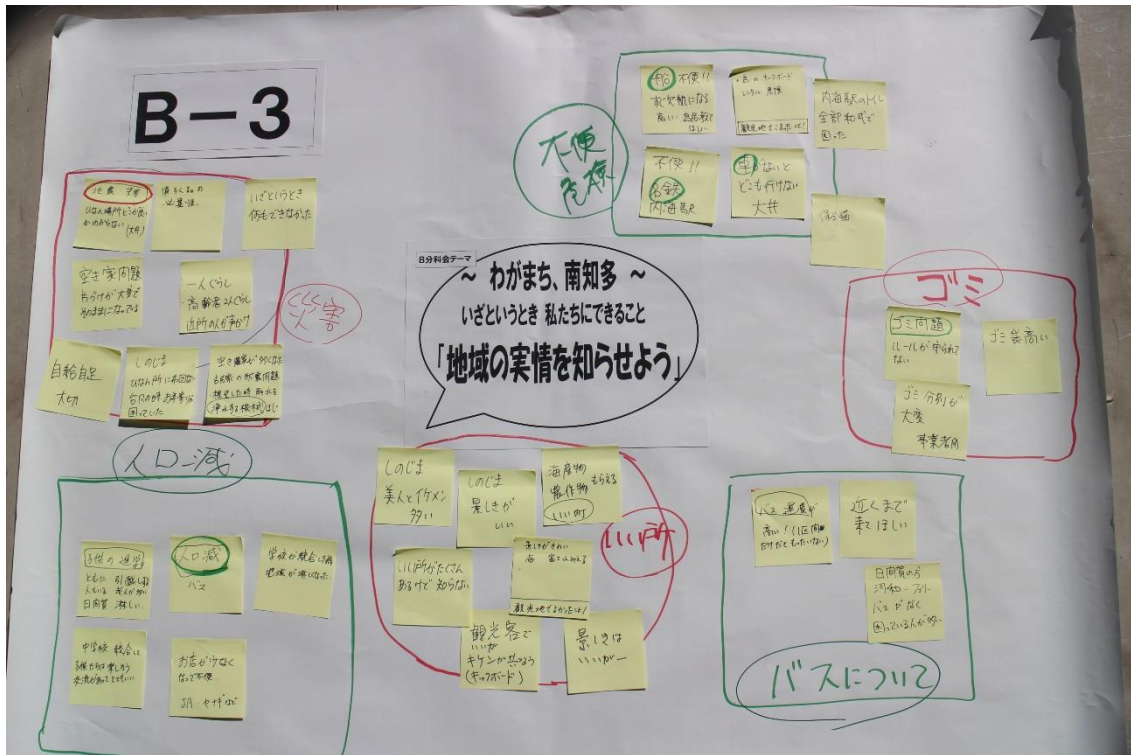
- ・「おうちで子育て応援金（300 円／月）は、すてきです。
- ・小児科が少ない。
- ・放課後デイサービスの定員が満員です。東浦町では、社協がしていて、老人ホームで開催しているそうです。
- ・ファミリーサポート利用のハードルが高いと思います。出産時に 1 回無料券を渡してはどうか。町からの助成（半額でも）があるとありがたい。
- ・支援センターは、9 時～16 時に開所しているが、16 時以降の居場所はない。総合体育館を時々利用しています。
- ・学校への欠席連絡をインターネットで伝えることは便利だが、反面、親同士のつながりはなくなっていくように思う。

(5) 災害「いざというときのインフラ整備」

- ・避難経路の確認を
- ・隣同士との付き合いがうすい。濃くしておく必要がある。
- ・災害時、近くの山へ避難するが、風をよける建物がないので困る。
- ・街灯が少ない。
- ・道が遮断されたときの救援物資の調達をいかにするか。
- ・避難物資の搬入ルート確保をどうするか。
- ・避難所の段ボールハウスの授乳室は、ありがたい。

(6) 町の活性化のための解決策

- ・企業誘致 → 子育て世代・店・人口の増加し、役場にとっても税金増に。
バスの便もふえるのでは。
- ・役場ホームページに、企業誘致のを載せる。



【B-3】書き起こし

(1) 地域のいいところ

- ・篠島は、美人とイケメンが多い。
- ・篠島は、景色がいい。
- ・海産物や農作物をもらえる、いい町です。
- ・景色がきれい、富士山も見える。観光地でよかった。
- ・景色はいいが、観光客による危険も伴う。(キックボード)
- ・いいところがあるけど、知らないことも多い。

(2) 不便で危険

- ・船が不便。すぐに欠航する。船賃が高い、島民のことを考えてほしい。
- ・名鉄が不便。内海駅しかない。
- ・内海駅のトイレは、全部和式で困る。
- ・車がないとどこへも行けない。
- ・島のレンタルキックボードは、危険である。
- ・保護ネコ被害。

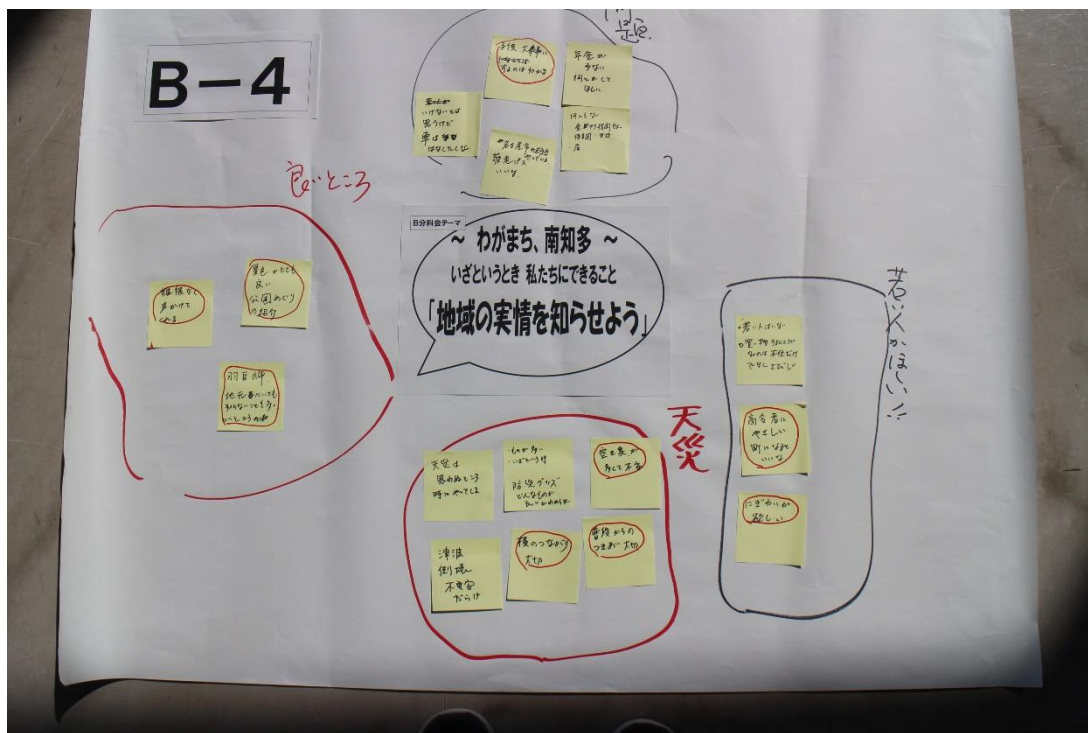
(3) バスについて

- ・バスの運賃が高い。1区間だともったいない。
- ・近くまで来てほしい。
- ・日間賀島の方は、河和からの高速船やバスの便が悪く、困っている人が多い。

(4) ごみ問題

- ・ごみ袋が高い。
- ・ゴミ出しのルールが守られていない。
- ・事業者用のごみ分別が大変である。

- (5) 災害問題「いざというときになにもできなかった」
- ・地震・災害時、避難場所はどこがよいか分からない。(大井)
 - ・備蓄品の必要性を感じる。自給自足は、大切。
 - ・一人暮らしや高齢者2人暮らしの人たちには、近所の声かけが必要である。
 - ・篠島では、避難所に布団がない。台風の時、お年寄りが困っていた。
 - ・空き家問題、片付けが大変で、そのままになっている。
 - ・空き家が多くなった。古民家の耐震問題。
 - ・被災した時、雨水を浄化する装置を備えてほしい。
- (6) 人口減について
- ・中学校は統合して、子どもたちは楽しそうである。交流があり、とても良い。
 - ・学校が統合したため、地域が淋しくなった。
 - ・子どもの進学と共に引っ越しする人もいる。老人が多く、日間賀島は淋しい。
 - ・JAやヤナギなどの店が少なくなって、不便になった。
 - ・人口減が、バスに影響している。



【B-4】書き起こし

- (1) 地域の良いところ
- ・景色がとても良い。
 - ・羽豆岬のような地元にも知らないいいところはある。
 - ・公園巡りの紹介をするとよい。
 - ・誰彼となく声をかけてくれる人のよさがある。

(2) 困り事情

- ・何もない！金融機関、保育所、学校。
- ・子どもを大事にしたい。
- ・年をとっても車は手放したくない。
- ・名古屋市がやっている、敬老パスがいい。
- ・年金が少ない。なんとかしてほしい。

(3) 高齢者に優しい町

- ・若い人が少ない。若い人が欲しい。
- ・買い物をするところがないのは、不便と同時に淋しさが増す。
- ・高齢者に優しい町だとよい。

(4) 天災への備え

- ・天災は、思わぬところ時にやってくる。
- ・いざというときのための防災グッズには、どんなものが必要なのか知らない。
- ・普段からの付き合いが大事。横のつながりを強くしたい。
- ・空き家が多くて不安である。
- ・津波による倒壊も心配される。

C分科会：「地域の活かし方・地域の未来」



【C-1】書き起こし

(1) 生活について考える

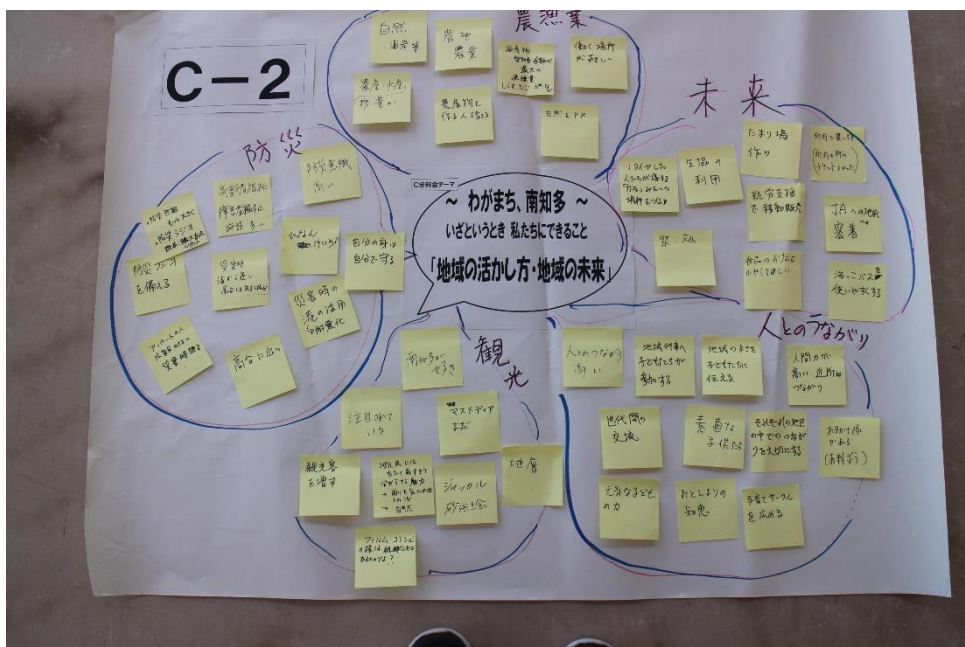
- ・子どもや孫に囲まれて生活しているので、今は幸せ。
- ・隣組が14→4軒に減少し、夫婦2人暮らしが多くなった。
- ・中学生は、近所に1人。同居率が低い。
- ・仕事がないと、生活できない。
- ・病院が少ない。
- ・魚太郎も海老せんべいの里もみんな美浜町。
- ・せめてスーパーがあるとよいのだが。
- ・子育ての大変さからか、結婚する人が少ない。
- ・リサイクルセンター以外に、ペットボトルや洗った缶なら全て受け入れてくれる。
- ・ごみは、昔よりきれいに出されている。
- ・一人暮らしになると、ごみもまともに出せなくなる。近所の人に手伝ってもらっている。

(2) 買い物事情

- ・店が近くに欲しい。遠くて困る。交通に不便である。
- ・買い物が心配。
- ・歩いてスーパーに行けない。
- ・海っこバスが利用しにくい。ダイヤ、料金の面で。
- ・車がないと大変である。右回り、左回りで遠くなった。
- ・バスは、小型にして、バス停も近くにほしい。
- ・タクシーチケットがあるとよい。

(3) 災害に対して

- ・同居だと助かっている。
- ・台風も1回だけで、災害が少ないから助かっている。
- ・災害対策への町の補助はいかに？
- ・昔の人の方が災害に強いのでは。
- ・新しい家は、斜めの筋交いがあり、揺れは少ないと思っている。
- ・伊勢湾の波は高く、三河湾のそれは低い。
- ・以前の大きな地震の時にも、津波はなかった。片名で、3軒つぶれた。火は消すことが大事。
- ・大きな家が多くて2階が残る。この地域は、庭が広いのもよい。
- ・新しく建て直しても地表は変わらない。



【C-2】書き起こし

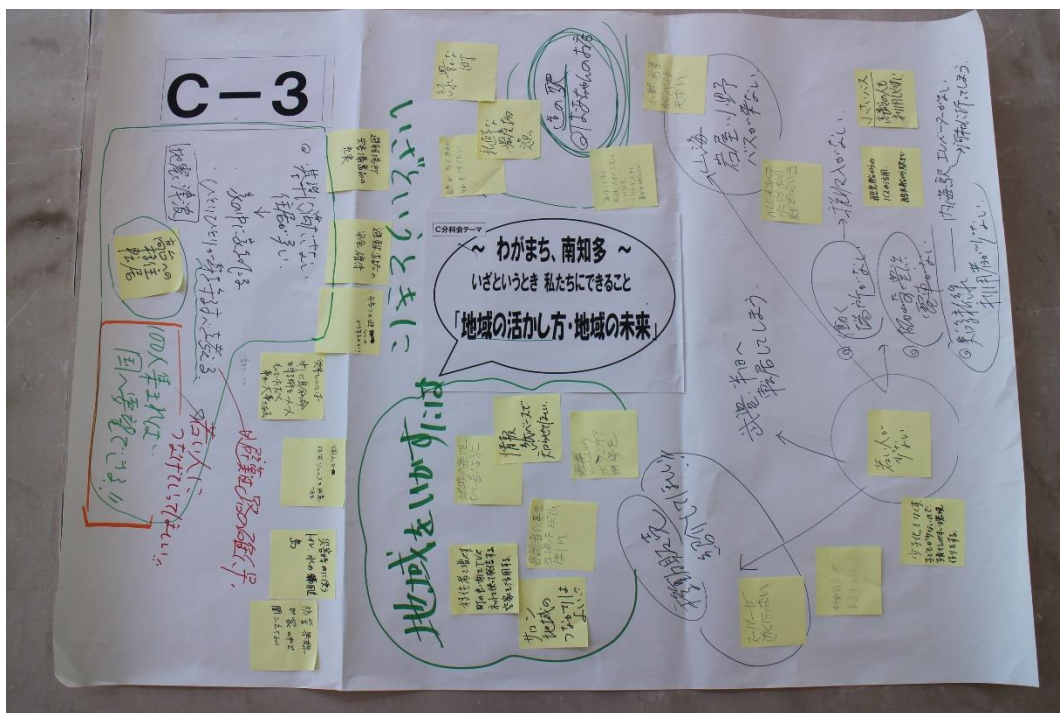
(1) 自然と農業・漁業・・・町の強み

- ・PRできる自然、豊かな海岸と農地がある。
- ・農産物や水産物が豊富である。
- ・海産物のシラスやタコ、カキは、愛知県でも最大の漁獲量を誇っている。
- ・働く場所が欲しい。(→よく言われるが、働く場所はあるのではないか)
- ・農産物を作る人を育てる。(→休耕田に若者を呼べないか)

(2) 未来を見通す

- ・生協の利用を促す。
- ・JAの地域密着を促進する。
- ・たまり場づくり。
- ・リタイヤした人たちが集まる「カフェ」みたいな場所をつくる。

- ・町内での買い物の促進。(町の町内チケットは、よかった)
 - ・就労支援を目的とした、移動販売をする。
 - ・海っこバスを使いやすくする。
 - ・食品の店を増やす。
 - ・祭り・文化を盛り上げる。
- (3) 地域の人とのつながりを活かす
- ・素直な子どもたち、元気な子どもの力。
 - ・人間力が高い、近所の人とのつながりも強い。
 - ・地域行事へ子どもたちが参加する。
 - ・年寄りの知恵、地域の良さを子どもたちに伝えていく。
 - ・それぞれの地区の中でのつながりを大切にし、世代間の交流を図る。
 - ・お助け隊がある。
 - ・子育てサークルを広める。」
- (4) 観光の力
- ・南知多が好き。
 - ・注目を浴びていることで、マスメディアを呼ぶ。
 - ジャッカルさんの砂浜絵
 - 地層などで
 - 観光客を増やす。
 - ・地元民には当たり前すぎて分からない魅力に、周りを気に掛ける人の心や自然がある。
- (5) 防災意識の高揚
- ・防災意識は高い。避難経路の確認。
 - ・自分の身は自分で守る。
 - ・高齢者福祉、障害者福祉施設が多い。
 - ・防災無線をもっと多く。
 - ・防災ラジオを備える。
 - ・防災ラジオの配布、購入方法を知りたい。
 - ・災害時、海から近いが高台も近くにある。
 - ・アパートに住む人は、広報が回っていないので、災害時の備えができていないのでは。
 - ・災害時に港を活用するためにも、耐震化等の整備が必要である。



【C-3】書き起こし

(1) 実情の把握

- ・若い人が少ない。
- ・若い人の働く場所がない。→税収が減る。
- ・武豊や半田へ転居してしまう。
- ・師崎、豊浜は、電車が来ない。
- ・観光船からは、バスで移動せざるを得ないが、使いにくい。
- ・移動に困る地域である。
- ・山海、岩屋、小野地区へは、バスが来ない。
- ・小さいバスに変えていくことで、高齢者も使いやすくなるのでは。
- ・内海駅は、エレベーターやエスカレーターがないので、河和に行ってしまう、利用者が少なくなるのではないか。
- ・スーパーが近くにないので、移動販売が必要である。
- ・高齢者が移動販売を利用しやすくするには、何が買えていつどこへどのように動いているのか、つぶさに紹介してもらうことが必要である。
- ・移動販売も商売であり、利用しなければ、来てくれない。
- ・「道の駅」「ばあちゃんのお店」など。
- ・緑豊かな町、新鮮な農産物や海産物、それらを活かしたい。
- ・海の幸の店があっても人手が不足しています。人手を集める方法を知りたい。

(2) 地域を活かすには

- ・サロン、地域のつながりはよい。
- ・高齢者の集まる場所がたくさんほしい。
- ・移住者を増やす。町の良い面をTVやネットを使って発信する。
- ・傾聴ボランティア研修を開催する。

- ・情報を紙ベースで知らせてほしい。
- ・地域の祭りを昔のように盛り上げる。

(3) いざというとき

- ・避難場所、災害備蓄品の充実を
- ・個人で防災リュックを用意する。
- ・島では、災害時に使うトイレや水の用意を
- ・災害時には、第一に自分の命を守る術を一人一人がもつことが大事である。
- ・災害無線が家の中では聞こえない。
- ・耐震基準に満たない家が多い。
- ・家の中に安全な場所を作る。
- ・避難道路の安全確保
- ・年寄りの避難をどうするか
- ・高台へ移住、移転する。→声が100人集まれば、国へ要望できる!と聞く
(国の補助をもらってのパイロット農地でも、宅地に転用できれば、津波に強い町づくりにつなげることができるのではないかと、今が町としてのふんばりどころ!)
- ・若い人につなげていってほしい。



【C-4】書き起こし

(1) 地域の不便さ・苦しい事情

- ・交通が、高齢者や子どもに不便である。
- ・移動のための足がないこと、坂が多いこと車いすでは怖いことなどが原因で、地域から出て行ってしまう。

- ・名鉄のワンマン運転をやめてほしい。
- ・会場タクシーは高いので、利用したくても利用できない。
- ・日間賀島では、通院時、土曜のみは出してくれるが、他の日は家族に頼むしかない。
- ・消防の人が、救急車に乗せるまではやってくれるが対応が冷たい。
- ・島の店より、半島の店へ買い物に行く方が安い。
- ・未来に期待ができない、島
- ・地域で支えあうというが、なかなか難しい。
- ・電線が多い。
- ・通学バスのための駐車場が欲しい。
- ・移動販売の情報が届かない。
- ・島を結ぶ橋ができて、日帰り観光になってしまう。

(2) 地域の魅力

- ・自然、海と山に囲まれて、海の産物や山の産物に恵まれていることを観光に活かす。
- ・空き家も利用できれば、産業になる。
- ・お祭りなどをSNSで発信する。
- ・知多新四国の利用

(3) 役場の出番です

- ・商用にするアイデア、活かすためのマネジメントできる人や会社を入れる。
- ・住民の意見を拾うシステムづくり → ホームページや意見BOX
- ・女性の会がある。
- ・地域以外の人、第三者の意見が必要。
- ・役場の企画課に形にしてもらう。
- ・オリーブの木を観光のために植えたが、管理者がいない。
- ・農の魅力を対外的に発信する（ブログ等にて）。
- ・地域の産品を扱う商店が欲しい。住民にとっても外の人にとっても。
- ・町で、店を造る。
- ・まずは、役場に立ち上げてもらい、住民が作った野菜を売る。（公営市場）
- ・衣食住に困らない基盤を作って発信する。
- ・「道の駅」のように町で造った公共施設が欲しい。
- ・地域クーポンで、地域への援助をする。
- ・町内で、金を循環させる。
- ・役場に保育所を作る。
- ・ボランティアの多様化を図る。
- ・お助け隊がある。
- ・小型車で、全体を回ってもらう台数を増やすし、交通の便を改善する。
- ・移住しやすくするため、町から補助金を出す。